

熊本連携中枢都市圏ビジョン（案）に関する圏域住民からの意見に対する回答の公表について

平成28年4月18日

政策局総合政策部政策企画課

熊本連携中枢都市圏ビジョン（案）について、圏域住民に周知したところ、下記のようなご意見をいただきました。なお、公表にあたりましては、取りまとめの都合上、ご意見を案件ごとに集約させていただきました。

記

- 1 意見募集期間 平成28年1月18日～平成28年1月31日
- 2 意見募集結果の公表日 平成28年4月18日
- 3 ご意見の提出状況  
ご意見を提出された方の人数 1名  
ご意見の件数（まとめりごと） 12件
- 4 提出されたご意見と、それに対する本市の考え方 別紙記載のとおり  
※いただいたご意見は、趣旨を要約させていただいております。また、同内容のご意見は一項目として取りまとめさせていただきました。

（内訳）

【対応1（補足修正）】

ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの 0件

【対応2（既記載）】

既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの 1件

【対応3（説明・理解）】

市としての考えを説明し、ご理解いただくもの 1件

【対応4（事業参考）】

素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事柄として今後の参考とするもの 10件

【対応5（その他）】

素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの 0件

5 意見募集結果資料の入手方法

熊本市ホームページに掲載しており、また、政策企画課窓口、市政情報プラザ、区役所（中央区役所を除く。）、総合出張所、出張所、河内総合出張所芳野分室、中央まちづくり交流室、五福まちづくり交流室、河内まちづくり交流室、くまもと森都心プラザ市民サービスコーナー、総合保健福祉センター（ウェルパルクまもと）及び各地域コミュニティセンターでも閲覧できます。

お問合せ先

熊本市政策局総合政策部政策企画課

電話番号 096-328-2035

## 提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

項目	ご意見等の内容	圏域の考え方	対応内訳
【生活機能】 子育て支援の 充実	熊本市以外の子育て支援センターは、土日祝の休みが多く、熊本市の子育て支援センターを都市圏で利用できるようにして欲しい。	今回、熊本市現代美術館内にある「街なか子育てひろば」については、圏域住民の利用に供し、子育て相談、講座等のイベントを実施したいと考えています。 また、熊本市内にあるその他の地域子育て支援センターについては、その機能として親子と地域を結びつける役割を担っており、現在熊本市外の住民については通勤者まで対象にしています。また、通勤者以外の方については、利用が少ない場合等例外的に受入が可能な場合もあるところです。	【対応2】 (既記載)
【生活機能】 公共施設の広 域利用	都市圏には、子育て支援センター、図書館、文化施設、スポーツ施設など土日祝に閉館しており、利用手続きが手間で利用しにくい施設がある。これらの施設は、土日祝は開館し、利用手続きを都市圏で統一して欲しい。	いただいた御意見は、今後圏域における公共施設の管理のあり方を検討する上で参考にさせていただきます。	【対応4】 (事業参考)
【生活機能】 公共施設の広 域利用	図書館について、コンビニやポストでの返却システムを都市圏で実現して欲しい。	いただいた御意見は今後の事業の展開を検討する上で参考とさせていただきます。	【対応4】 (事業参考)
【生活機能】 公共施設の広 域利用	歴史、文化等の施設の利用は小中学生に限定せず、中高年、高齢者でも興味があるところに行き渡る仕組みを導入して欲しい。	今回の取組は、施設が所在する市町村区域内に居住する住民に限定している減免制度を圏域市町村の住民に広げていこうという取組であり、そのような減免制度があれば今後検討して参ります。	【対応4】 (事業参考)

項目	ご意見等の内容	圏域の考え方	対応内訳
【生活機能】 公共施設の広 域利用	公共施設の町内外の利用料金の格差をなくして欲しい。今後は、都市圏内、都市圏外という設定にして欲しい。	町内外料金については今までも一部の施設で協議してきた経緯がございますが、現時点では圏域市町村による協議が整っていません。この課題については、今後とも関係市町村で協議して参ります。	【対応4】 (事業参考)
【生活機能】 公共施設の広 域利用	都市圏の公共施設について、スタンプラリーをすることにより、商品が当たるキャンペーン等を定期的実施して欲しい。	いただいた御意見は、今後事業の検討をしていく中で参考とさせていただきます。	【対応4】 (事業参考)
【生活機能】 空家対策等都 市空間に関す る課題への対 応	空き家の共有ホームページを都市圏で作し、移住情報を集約して情報発信できる仕組みを作って欲しい。	現在、熊本県内の空家情報は県の移住・定住ポータルサイトに掲載されているところですが、いただいた御意見は、今後の空家対策等に関し圏域でどのような取組ができるのかを検討していく上で参考にさせていただきます。	【対応4】 (事業参考)
【生活機能】 観光の振興	観光振興について、熊本駅や空港に大きな情報発信ブースを設け、パンフレットが多く置いてあるコーナーを作るとよい。	現在、阿蘇くまもと空港及び熊本駅の西口、東口には、それぞれ総合案内所、観光案内所が設置され、県内自治体の観光情報の発信を行っているところです。熊本駅につきましては、2年後の駅ビル再開発に向け、観光案内所をどのような形で設置できるのか、今後JR側と協議・検討していきたいと考えております。	【対応4】 (事業参考)
【生活機能】 環境の保全	子ども・老人のおむつは、ゴミ袋を大量に必要とするため、都市圏でゴミ袋を作成し、無料配布して欲しい。	統一した規格のごみ袋を作成することは検討すべき点が多いものの、ごみ袋の無料配布については、現在一部の圏域自治体で実施されており、圏域全体での実施については、今後検討して参ります。	【対応4】 (事業参考)

項目	ご意見等の内容	圏域の考え方	対応内訳
<p>【生活機能】 ICT を活用した広域的な情報発信</p>	<p>近隣市町村のホームページの中には、熊本市とは全く違い、10年前のホームページのレイアウトがあり、情報更新がごくたまにしかない。熊本市が先導して、見やすく、綺麗で、最先端の構成市町村ホームページを作って欲しい。</p>	<p>ホームページのあり方につきましては、これまで都市圏協議会において、ホームページ公開システムの共同利用や情報の相互乗り入れなどについて協議してきたところですが、実現には至っておりません。</p> <p>今後も引き続き、見やすく、分かりやすい魅力的なホームページとなるよう圏域市町村で協議して参ります。</p>	<p>【対応4】 (事業参考)</p>
<p>【生活機能】 ICT を活用した広域的な情報発信</p>	<p>都市圏協議会のホームページについて、各市町村の情報が掲載されているが、情報がバラバラで、どの市町村の情報も満遍なく閲覧でき、情報の格差がないようにして欲しい。</p>	<p>熊本都市圏協議会は解散を予定しておりそのホームページは閉鎖する予定ですが、圏域に関するICTを活用した情報発信のあり方については今後連携中枢都市圏の中で検討して参ります。</p>	<p>【対応4】 (事業参考)</p>
<p>【生活機能】 地域医療の充実企業誘致の促進観光の振興</p>	<p>医療、企業誘致、海外観光客の誘致に参加していない市町村がある。全ての市町村が参加するように、熊本市が協力依頼をする必要がある。</p>	<p>連携中枢都市圏は熊本市と個別市町村の1対1の連携協約により形成されており、連携中枢都市圏の取組に当たって、基本的に圏域の各課題に応じて参加の可否を判断しているところです。今後、連携事業の取組を進める中で、圏域全体の利益につながるものについては、熊本市としても積極的に参加を働きかけていきたいと考えております。</p>	<p>【対応3】 (説明・理解)</p>